

令和 5 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

令和 5 年 12 月 4 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・准教授

申請者名 石川友保

助成の区分 (該当するものに○)	学会参加助成・学術出版助成・学術論文掲載料等助成
事業名	研究協力に関する事業
成果の概要	<p>①学会参加者 深沢隆大（共生システム理工学研究科博士課程前期 2 年）</p> <p>②概要 令和 5 年 11 月 25 日（土）・26 日（日）の 2 日間、東京都立大学で行われた第 68 回土木計画学研究発表会・秋大会に参加し、「緊急輸送道路ネットワークの脆弱性評価手法の比較分析」というテーマで発表しました。</p> <p>発表は約 10 分で、学生・教授など約 40 人の方に聞いていただきました。発表後の質疑応答では用語の定義や分析結果等について質問やコメントをいただき、今後の研究の展開についてヒントを得ることができました。</p> <p>③発表内容 緊急輸送道路ネットワークは、その重要性からこれまでに様々な性能（接続性・脆弱性など）が評価され、評価手法も多数提案されてきました。しかし各評価手法は評価内容などが異なり、各手法をより有効に使うには適用条件が必要と考えました。本研究では、入力データの有無・評価内容（遅延・経路寸断などの脆弱性の考え方、評価指標）・ネットワーク構造（密・疎など）の 3 種類を適用条件とし、各手法の適用条件を明らかにすることを目的としました。適用条件は各手法の定性的・定量的な分析を通して明らかにし、必要情報の多少・評価可能な脆弱性・リンクの寸断に対する脆弱性の感度などの視点から手法間の適用条件の違いを比較しました。</p>